説明資料

【議事①】

令和４年度大津町国民健康保険特別会計決算の概要について

健康保険課　国保・医療係

１．Ｒ４大津町国民健康保険特別会計決算の概要について①

繰越金
97,776,401円
（前年度）
152,105,599円
▲54,329,198円

国保税〔決算書P11～12〕
5億7千323万9千146円（対前年度▲1千207万6千848円）
①一般被保険者　5億7千316万1千198円（現年度収納率:93.84%）
②退職被保険者等　7万7千948円（滞納繰越分のみ）

県支出金〔決算書P13～14〕
20億8千369万415円（対前年度▲3千34万2千902円）
（1）普通交付金　20億1千454万415円（対前年度▲1千850万5千902円）
（2）特別交付金　6千915万円（対前年度　▲1千183万7千円）
①保険者努力支援分 15,946千円　②特別調整交付金　27,214千円
③県繰入金（2号分） 17,542千円　④特定健康診査等負担金 8,448千円

繰入金〔決算書P15～16〕
2億1千131万7千983円（対前年度▲579万4千668円）
①保険基盤安定繰入金（保険税軽減分） 109,485,043円
②保険基盤安定繰入金（未就学児均等割軽減分） 1,931,590円
③保険基盤安定繰入金（保険者支援分） 57,935,964円
④職員給与等繰入金 12,189,738円 ⑤助産費等繰入金 5,312,826円
⑥財政安定化支援事業繰入金 24,462,822円

その他〔決算書P11～20〕
1億6千872万1千349円（対前年度▲2千591万2千853円）
繰越金、国庫支出金、諸収入、使用料等

総務費〔決算書P21～24〕
1千566万7千738円（対前年度▲120万3千330円）
レセプト点検委託・パソコン保守委託・システム改修委託・需用費等

保険給付費〔決算書P23～28〕
20億4千4,677万9千86円（対前年度▲1千774万3千709円）
療養給付費・療養費・高額療養費・葬祭費・出産育児一時金
傷病手当金等

事業費納付金〔決算書P27～28〕
8億3千830万9千728円（対前年度＋82万2千326円）

保健事業費〔決算書P29～32〕
3千474万4千218円（対前年度+14万3千274円）
①特定健診受診者　1,444人（R3受診者 1,130人）
（特定健診受診率 43.8%、R3 41.2%、R2 36.2%）
②人間ドック受診者　455人（40～74歳 443人、30代 12人）
（R3受診者 480人 40～74歳 429人、30代 51人）
③特定保健指導対象者　171人（特定保健指導実施率 70.8% R3 77.2%）

その他〔決算書P29～34〕
369万1千722円（対前年度▲422万3千294円）
基金積立金、保険税還付金、予備費等

１．Ｒ４大津町国民健康保険特別会計決算の概要について②

■国民健康保険特別会計決算状況

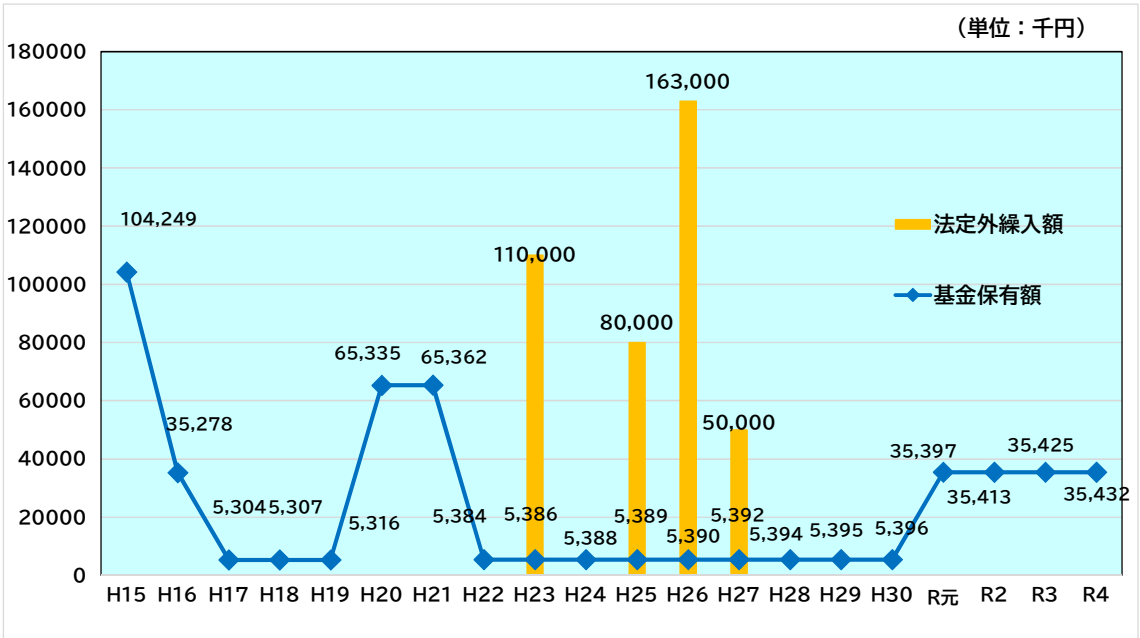
（単位：千円）

年度	歳入（A）	歳出（B）	差引（A-B）	繰越金（C）	基金繰入（D）	法定外繰入(E)	基金積立（F）	単年度収支	基金保有額
23	3,043,248	2,799,210	244,038	163,541	0	110,000	2	△ 29,501	5,386
24	3,122,801	2,969,877	152,924	244,038	0	0	1	△ 91,113	5,388
25	3,135,632	2,999,366	136,266	152,924	0	80,000	1	△ 96,657	5,389
26	3,245,581	3,080,852	164,729	136,266	0	163,000	1	△ 134,536	5,390
27	3,855,474	3,641,874	213,600	164,729	0	50,000	1	△ 1,128	5,392
28	3,622,080	3,426,831	195,249	213,600	0	0	1	△ 18,350	5,394
29	3,721,369	3,455,489	265,880	195,249	0	0	1	70,632	5,395
30	2,969,862	2,776,352	193,510	265,880	0	0	1	△ 72,369	5,396
R元	3,031,408	2,851,851	179,557	193,510	0	0	30,001	16,048	35,397
R2	3,037,269	2,857,443	179,826	179,557	0	0	16	285	35,413
R3	3,111,096	2,958,991	152,105	179,826	0	0	13	△ 27,708	35,425
R4	3,036,969	2,939,193	97,776	152,105	0	0	7	△ 54,322	35,432
・単年度収支＝（A-C-D-E)-B+F									

※税率改正（増税）

１．Ｒ４大津町国民健康保険特別会計決算の概要について③

■基金保有額等の推移



【議事②】

大津町国民健康保険の現状について

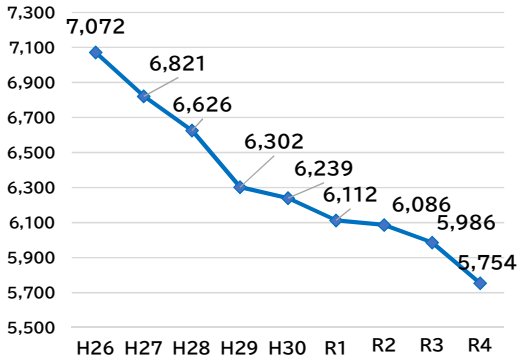
2．大津町国民健康保険の現状について①

■被保険者の状況

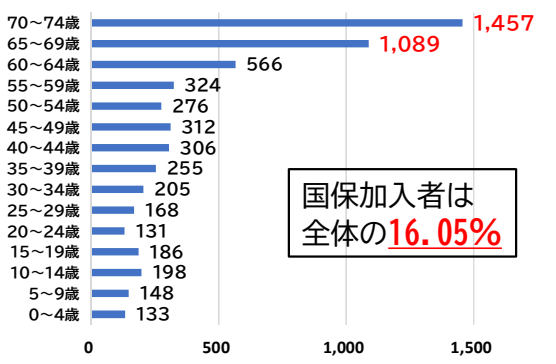
・被保険者数は、75歳以上の方の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の適用拡大（令和4年10月・令和6年10月）等により、減少が見込まれる（図1）。

・国民健康保険は定年退職者が多く加入するため、令和5年3月末の被保険者数は、65歳以上の高齢者が多くの割合（**44.2%**）を占めている（図2）。

（図1） **被保険者数の推移**（年度末）



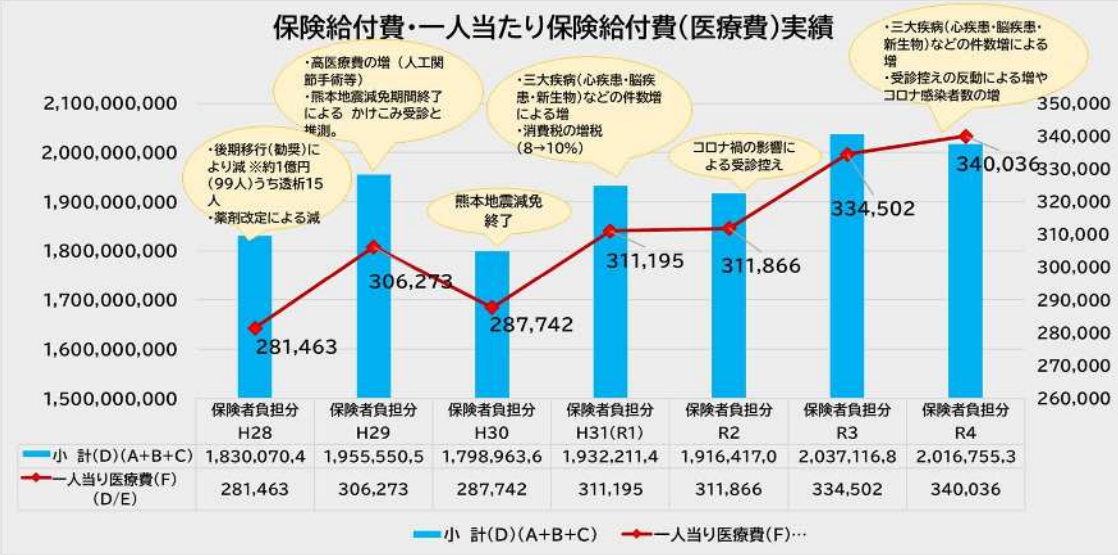
（図2） **年齢階層別被保険者数**（R5.3.31）



2．大津町国民健康保険の現状について②

■医療費（保険給付費）の状況

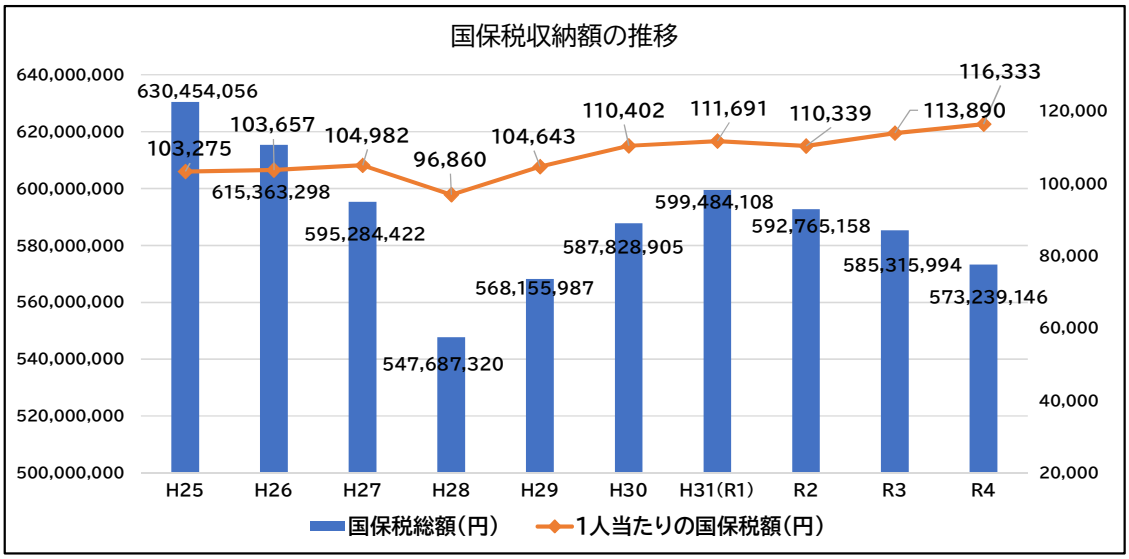
・高齢化や医療の高度化、コロナ感染症の影響で、医療費（保険給付費）が年々上昇している。



2．大津町国民健康保険の現状について③

■国民健康保険税の状況

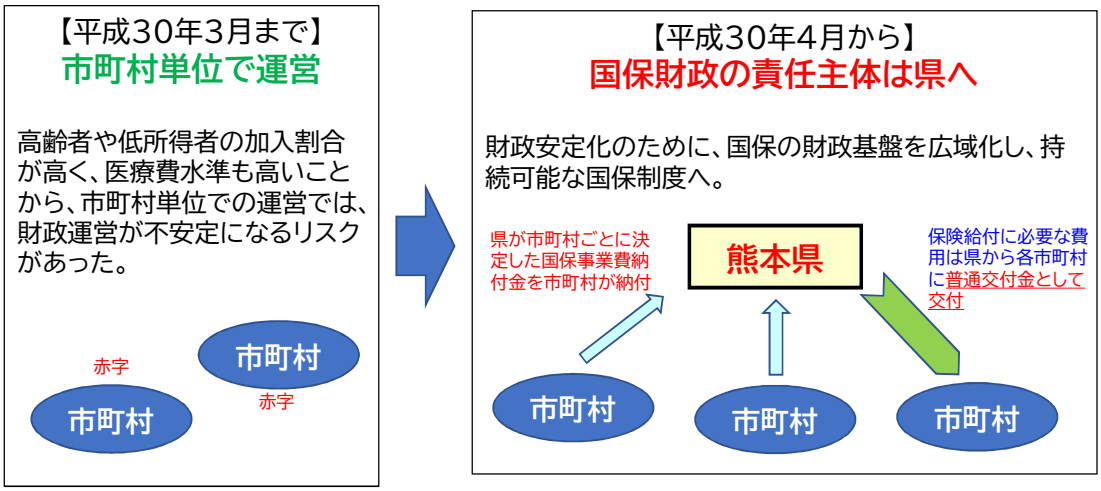
・国保税の収納額は年々減少傾向にあり、毎年、余剰金（繰越金等）を活用し、国保加入者の負担が大きくならないよう税率を据え置いてきた。



2．大津町国民健康保険の現状について④

■平成30年度から県と町で共同運営･･･財政運営の主体は県へ

・市町村は事業費納付金を県へ納付する。
・県は市町村の保険給付費を普通交付金として交付する。



2．大津町国民健康保険の現状について⑤

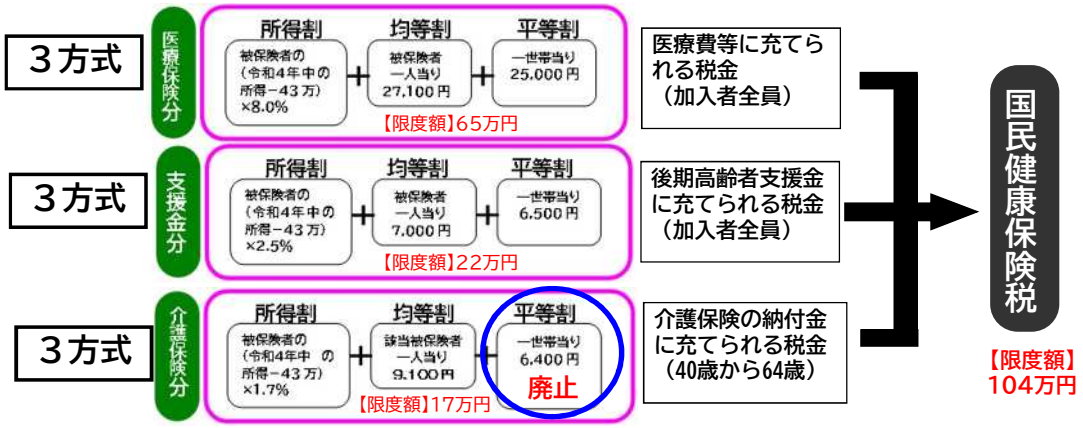
■保険料水準の統一に向けたロードマップ（熊本県概要抜粋）

・熊本県では、市町村間で保険税水準・医療費水準にバラツキがあります（最大約２倍）。これらの標準化を図り、最終的には、「同じ所得、同じ世帯構成であれば、県内のどこに住んでいても同じ保険料になる」ことを目指すこととしています。（令和１２年度に完全統一）

【ロードマップ（熊本県概要抜粋）】
（令和６年度）保険料水準の統一時期を改めて検討・判断
・保険料算定方式の統一化（3-3-2方式へ）…R8までに
・医療費水準の平準化（納付金に反映している医療費水準を段階的に反映しないようにする）…R9までに
（令和９年度）保険料水準の統一①（納付金・標準保険料算定ベース）
（令和１２年度）保険料水準の統一②（実際の保険料ベース）

2．大津町国民健康保険の現状について⑥

■国民健康保険税（医療保険分・支援金分・介護保険分）の算定方法



■国保税の今後の状況

〇被保険者数が減少し、国保税収入額も減少傾向にある。
〇構造的に高齢者、低所得者層が多く、急激な増税は負担が大きい。
〇県の保険料（税）水準の統一に向けたロードマップに基づき、平等割（介護保険分）を廃止し、「３－３－２方式」へ

【参考資料】

■近隣市町村の国保税率の状況

		大津町	菊陽町	合志市	菊池市	益城町	熊本市	八代市
所得割(%)	医療分	8.0	8.00	9.00	8.00	8.79	8.34	10.06
	後期高齢者支援金分	2.5	2.50	2.30	2.50	2.76	2.27	3.30
	介護保険分	1.7	2.00	1.70	2.00	2.23	2.04	2.70
	合計	12.2	12.5	13.0	12.5	13.8	12.7	16.1
均等割(円)	医療分	27,100	28,000	27,400	28,000	25,100	35,100	29,600
	後期高齢者支援金分	7,000	8,000	6,600	7,800	8,100	9,600	9,300
	介護保険分	9,100	10,000	8,000	10,000	11,600	15,400	14,900
	合計	43,200	46,000	42,000	45,800	44,800	60,100	53,800
平等割(円)	医療分	25,000	25,000	26,300	25,000	31,500	25,600	22,000
	後期高齢者支援金分	6,500	7,000	6,700	7,500	8,000	7,000	6,900
	介護保険分	6,400	7,000	6,000	7,000	0	0	0
	合計	37,900	39,000	39,000	39,500	39,500	32,600	28,900
均等割＋平等割(合計)		81,100	85,000	81,000	85,300	84,300	92,700	82,700

【議事③】

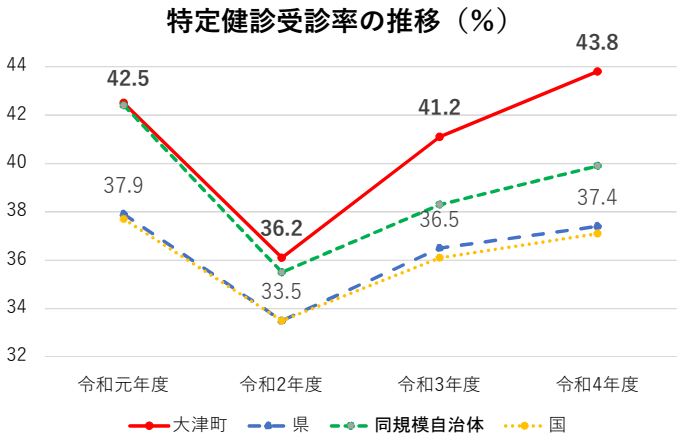
第２期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第３期特定健康診査等実施計画進捗状況について

健康保険課　健康推進係

特定健診受診率の推移

特定健診受診率の推移（%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大津町	42.5	36.2	41.2	43.8
県	37.9	33.5	36.5	37.4
同規模自治体	42.4	35.5	38.3	39.9
国	37.7	33.5	36.1	37.1



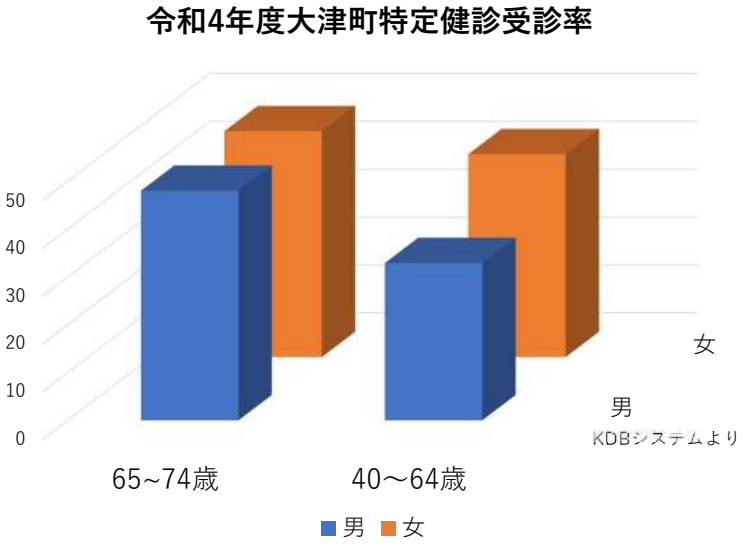
KDBシステムより

・受診率は県や同規模自治体より若干高い。
・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で受診率が減少しているが、令和3年度以降は増加。
・生活習慣病の初期は自覚症状がないため、多くの人が健診を受けて自分の体の状態を知り、早めに対処することが重要！

男女別・年代別の特定健診受診率

令和4年度
大津町特定健診受診率（%）

	男	女
65～74歳	48.0	47.2
40～64歳	32.9	42.4



重症化予防対象者の推移

重症化予防	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Ⅱ度高血圧以上	56	77	43	54
HbA1c6.5％以上（未治療）	26	24	44	29
HbA1c7.0％以上（治療あり）	48	41	51	45
尿蛋白（＋）かつ尿pc比0.5以上	11	12	12	13
LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ180以上	43	16	44	30

血圧（未治療）と高血糖（治療あり）の所見がある人が他の項目と比較して多い傾向がみえます。
治療中にも関わらず血糖値コントロール不良となる人は、栄養や運動など生活管理が重要です。
重症化予防の対象者となる人の中には、40～50歳代の働き盛り世代も少しずつ増えている印象です。

大津町の高額医療の内訳は？

令和４年度高額医療者集計リスト（保険者データヘルス支援システムより）

疾病名	人数	総額	費用額/人
脳梗塞	54人 （レセプト数227件）	62,677,530円 **→約6,270万円**	**1,160,695円**
脳出血	15人 （レセプト数64件）	24,404,010円 **→約2,440万円**	**1,626,934円**
くも膜下出血	3人 （レセプト数11件）	5,492,500円 →約550万円	**1,830,833円**
虚血性心疾患	90人 （レセプト数305件）	24,985,970円 **→約2,500万円**	277,622円
大動脈瘤及び解離	17人 （レセプト数30件）	7,325,380円 →約730万円	430,905円

高額医療費から考える健康リスク

- 脳梗塞や脳出血等は脳血管疾患、狭心症や心筋梗塞等は虚血性心疾患と呼ばれます。
- 一度発症すると再発するリスクが高まるため、定期的な受診や内服でしっかりと管理する必要があります。
- 後遺症が残ることもあり、生活への影響が大きいのも特徴です。
- 脳血管疾患は認知症の原因になることもあります。
- 脳血管疾患も虚血性心疾患も、血管が傷むことで生じることが多い疾患です。**血管を傷める原因は高血圧や高血糖、脂質異常などです。**

⇒生活習慣病の重症化を予防することは、医療費の抑制だけではなく、住民の皆様の生活を守ることにつながります。